

(仮称)鎌倉ロードプライシングの 周知活動について

平成31年1月31日

鎌倉市

(仮称) 鎌倉ロードプライシングの周知活動

1 オープンハウス(継続中)

鎌倉市役所や各支所、商業施設で、鎌倉地域の交通実態や、現在実施している交通施策、(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討内容に関するパネルを展示し、併せて意見を募集しています。



鎌倉市役所



商業施設(東急ストア鎌倉店)

(仮称) 鎌倉ロードプライシングの周知活動

2 意見交換会

- 商工業者や自治会の皆様に対し、ロードプライシングの必要性や導入までのスケジュールを示したうえで、まちの将来像について意見交換を行いました。

(1)商工業者との意見交換会

日時：平成30年12月3日実施 / 場所：鎌倉商工会議所

(2)自治会との意見交換会

日時：平成31年1月11日実施 / 場所：鎌倉市役所

(仮称) 鎌倉ロードプライシングの周知活動

《オープンハウス及び意見交換会での主な意見》

(平成31年1月22日時点)

1 鎌倉の渋滞・混雑に対して

- ・バスの時間(本数)を多くしてもらいたい
- ・休日は渋滞で歩行者が歩きにくい

2 ロードプライシングに対して

- ・鎌倉市民と観光客どちらもが安全で快適に過ごすためのすばらしい取り組み(他、賛成意見13件)
- ・道路を規制すると駅が混む
- ・国道134号線を対象にしないと、根本的解決にならない
- ・ロードプライシングをすると、逗子や藤沢から鎌倉に入るのが余計に渋滞しないかが心配

(仮称) 鎌倉ロードプライシングの周知活動

3 未来交通シンポジウム

- タイトル: 住む人・観光する人・働く人のための未来交通シンポジウム
～スマートなまちの交通をつくるSDGs未来都市かまぐらへのロードプライシング～
- 日 時: 平成31年1月27日(日) 午後2時～午後4時
- 場 所: 鎌倉商工会議所 ホール
- 参加者数: 90人(当初受付者数: 100人)
- プログラム:
 - 第1部 基調講演
 - ① 住む人・観光する人・働く人にとってスマートは鎌倉の交通環境を目指すための「ロードプライシング」について
講演者: 松尾 崇(鎌倉市長)
 - ② SDGsで多面的にみるまちづくりと交通
講演者: 蟹江 憲史氏(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授)

(仮称) 鎌倉ロードプライシングの周知活動

第2部 パネルディスカッション

「SDGs未来都市かまくら」として鎌倉が目指すべきまちの姿

「SDGs未来都市かまくら」の創造を目指し、「住む人」「観光する人」「働く人」全ての人にとって、鎌倉が魅力的なまちとなるために必要なこととは何か。鎌倉市が新たな施策として取組むロードプライシングのあり方にも触れながら、鎌倉が目指すべきまちの姿について議論しました。

コーディネーター: 岸井 隆幸氏 ((一財)計量計画研究所 代表理事)

パネリスト : 蟹江 憲史氏 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授)

: 久保田 尚氏 (埼玉大学大学院理工学研究科 教授)

: 根本 敏則氏 (敬愛大学大学院理工学研究科 教授)

: 屋ヶ田 友紀氏 (特定非営利活動法人minamo 理事長)

: 松尾 崇 (鎌倉市長)



今後のスケジュール（周知活動）

- オープンハウスは、平成31年3月末まで実施し、平成31年度も引き続き設置に向け検討
- 意見交換会、シンポジウムについても平成31年度開催予定

